



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年5月13日
上場取引所 東

上場会社名 田中精密工業株式会社
コード番号 7218 URL <http://www.tanasei.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 金森 俊幸

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理統括部長 (氏名) 沖 健司 TEL 076-469-9107

定時株主総会開催予定日 2021年6月23日 配当支払開始予定日 ー

有価証券報告書提出予定日 2021年6月24日

決算補足説明資料作成の有無：無

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年4月1日～2021年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	26,041	△18.6	△239	ー	△197	ー	△571	ー
2020年3月期	32,004	△16.0	△320	ー	△162	ー	△670	ー

(注) 包括利益 2021年3月期 △10百万円 (ー%) 2020年3月期 △1,570百万円 (ー%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	△58.60	ー	△3.7	△0.5	△0.9
2020年3月期	△68.71	ー	△4.1	△0.4	△1.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 ー百万円 2020年3月期 ー百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	36,898	21,154	41.2	1,555.77
2020年3月期	36,840	21,251	41.8	1,577.30

(参考) 自己資本 2021年3月期 15,185百万円 2020年3月期 15,395百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	3,059	△1,021	△879	7,025
2020年3月期	3,608	△3,917	1,181	5,763

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	ー	5.00	ー	0.00	5.00	48	ー	0.3
2021年3月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00	ー	ー	ー
2022年3月期(予想)	ー	3.00	ー	3.00	6.00	ー	8.4	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,600	13.7	1,100	ー	1,200	ー	700	ー	71.71

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料P. 13「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

2021年3月期	9,763,600株	2020年3月期	9,763,600株
2021年3月期	2,855株	2020年3月期	2,855株
2021年3月期	9,760,745株	2020年3月期	9,760,745株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	13
(表示方法の変更)	13
(会計上の見積りの変更)	13
(追加情報)	13
(セグメント情報)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染拡大により経済活動が停滞を余儀無くされ、世界経済は悪化いたしました。その影響から、取引先である自動車業界は、中国では感染拡大の封じ込め等により販売台数は回復したものの、その他地域の販売台数は景気悪化の影響を受け、欧米を筆頭に軒並み減少いたしました。

このような環境の中、売上高につきましては、景気悪化等による受注減少により、26,041百万円（前期比18.6%減）となりました。損益につきましては、先述の減収影響はありましたものの、総費用削減により、営業損失239百万円（前期は320百万円の営業損失）、経常損失197百万円（前期は162百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失571百万円（前期は670百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

売上高につきましては、景気悪化等による受注減少により、12,868百万円（前期比13.3%減）となりました。損益につきましては、先述の減収影響はありましたものの、総費用削減に努めましたことにより、260百万円のセグメント損失（前期は1,074百万円のセグメント損失）となりました。

② 米国

売上高につきましては、景気悪化等による受注減少により、8,418百万円（前期比20.9%減）となりました。損益につきましては、総費用削減に努めましたものの、先述の減収影響により、178百万円のセグメント損失（前期は186百万円のセグメント利益）となりました。

③ タイ

売上高につきましては、景気悪化等による受注減少により、4,039百万円（前期比27.1%減）となりました。損益につきましては、総費用削減に努めましたものの、先述の減収影響により、91百万円のセグメント利益（前期比69.8%減）となりました。

④ ベトナム

売上高につきましては、景気悪化等による受注減少により、715百万円（前期比26.5%減）となりました。損益につきましては、総費用削減に努めましたものの、先述の減収影響により、96百万円のセグメント利益（前期比53.5%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産につきましては、現金及び預金の増加等により、前連結会計年度末に比べ58百万円増加し、36,898百万円となりました。負債の部では、退職給付に係る負債の増加等により154百万円増加し、15,743百万円となりました。なお、純資産の部では、利益剰余金の減少により、96百万円減少し、21,154百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度と比較して1,261百万円増加し、当連結会計年度末には7,025百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は3,059百万円（前期比15.2%減）となりました。主な内訳は、減価償却費2,730百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は1,021百万円（前期比73.9%減）となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出2,249百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は879百万円（前年同期は1,181百万円の収入）となりました。主な内訳は、長期借入れによる収入400百万円、短期借入金の増加1,105百万円、長期借入金の返済による支出2,265百万円であります。

(4) 今後の見通し

当社グループの取引先であります自動車業界は、新型コロナウイルスのワクチン普及による経済活動の活性化によって景気回復が期待されますものの、新たな変異株発生による感染再拡大、また半導体不足による顧客における生産調整等、依然として先行きは不透明な状況が続くものと考えられ、自動車生産・販売は世界的に不安定な状態が継続し、コロナ前水準に戻るのには2022年以降と予測されております。

このような状況の中で当社グループは、日本・米国・タイ・ベトナムにおける徹底したローコストオペレーションへの転換と減収タフネスの強化とともに、中期3カ年（21-23中期）の重点施策を強力に推進いたします。

次期の業績見通しにつきましては、売上高は新型コロナウイルス影響からの回復により29,600百万円（当連結会計年度比13.7%増）と増収を予想しております。損益につきましては、増収効果及び重点施策推進効果並びに総費用圧縮の継続により営業利益1,100百万円（当連結会計年度は239百万円の営業損失）、経常利益1,200百万円（当連結会計年度は197百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純利益700百万円（当連結会計年度は571百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）を見込んでおります。

なお、為替レートにつきましては通期で1ドル105.00円、1パーツ3.40円、1ドン0.00438円を想定しております。

●利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。安定的な経営基盤の確保と株主への利益還元に努めるとともに、配当につきましても安定的な配当の継続を業績に応じて行うことを基本方針としております。

当期の期末配当金につきましては、2021年3月期業績において損失計上となりましたことから無配とさせていただきます。また、次期配当金につきましては、今後の経営環境を勘案し、1株につき6円（中間3円・期末3円）を予定しております。引き続き、財務体質の強化を図るとともに、増配提案ができますよう全社一丸となって努力してまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、企業間及び経年での比較可能性を確保するため、当社の連結財務諸表は、「連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則（第7章及び第8章を除く）」（昭和51年大蔵省令第28号）に基づいて作成しております。

なお、国際会計基準の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,340,082	7,101,050
受取手形及び売掛金	2,997,872	3,149,392
商品及び製品	1,510,664	1,454,218
仕掛品	1,094,469	945,744
原材料及び貯蔵品	2,607,422	2,359,724
その他	274,047	277,532
流動資産合計	14,824,559	15,287,662
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,760,080	16,379,799
減価償却累計額	△9,756,857	△10,165,805
建物及び構築物 (純額)	6,003,222	6,213,993
機械装置及び運搬具	51,995,588	52,897,499
減価償却累計額	△44,852,063	△45,624,025
機械装置及び運搬具 (純額)	7,143,525	7,273,473
土地	2,463,238	2,388,082
建設仮勘定	1,609,728	653,479
その他	2,934,274	2,989,717
減価償却累計額	△2,592,651	△2,681,232
その他 (純額)	341,623	308,484
有形固定資産合計	17,561,338	16,837,512
無形固定資産	317,843	255,405
投資その他の資産		
投資有価証券	2,517,137	2,717,694
繰延税金資産	55,780	69,364
退職給付に係る資産	1,293,837	1,473,342
その他	280,176	257,140
貸倒引当金	△10,574	—
投資その他の資産合計	4,136,357	4,517,541
固定資産合計	22,015,539	21,610,460
資産合計	36,840,099	36,898,122

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当連結会計年度 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,277,357	1,553,868
電子記録債務	612,174	563,709
ファクタリング債務	717,429	638,029
短期借入金	3,515,000	4,620,000
1年内返済予定の長期借入金	1,508,573	1,246,836
リース債務	20,008	40,602
未払法人税等	22,794	83,026
その他	1,996,615	1,569,712
流動負債合計	9,669,952	10,315,785
固定負債		
長期借入金	4,797,628	3,193,660
リース債務	65,687	150,290
繰延税金負債	832,284	511,258
退職給付に係る負債	130,047	1,481,315
資産除去債務	93,446	90,844
固定負債合計	5,919,093	5,427,367
負債合計	15,589,046	15,743,153
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,190	500,190
資本剰余金	324,233	324,233
利益剰余金	13,343,892	12,778,494
自己株式	△2,668	△2,668
株主資本合計	14,165,647	13,600,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	271,143	584,109
為替換算調整勘定	746,199	981,548
退職給付に係る調整累計額	212,586	19,531
その他の包括利益累計額合計	1,229,929	1,585,189
非支配株主持分	5,855,475	5,969,529
純資産合計	21,251,052	21,154,969
負債純資産合計	36,840,099	36,898,122

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
売上高	32,004,514	26,041,013
売上原価	27,879,111	22,828,112
売上総利益	4,125,403	3,212,901
販売費及び一般管理費	4,445,962	3,452,250
営業損失(△)	△320,559	△239,348
営業外収益		
受取利息	61,661	37,253
受取配当金	79,391	59,945
スクラップ収入	30,864	31,699
その他	62,297	63,813
営業外収益合計	234,216	192,712
営業外費用		
支払利息	62,750	74,439
為替差損	7,754	58,897
その他	6,100	17,591
営業外費用合計	76,606	150,928
経常損失(△)	△162,949	△197,565
特別利益		
固定資産売却益	19,616	31,130
投資有価証券売却益	35,365	278,710
ゴルフ会員権売却益	1,869	341
貸倒引当金戻入額	—	223
特別利益合計	56,851	310,406
特別損失		
固定資産売却損	1,069	63,406
固定資産除却損	65,879	69,728
減損損失	88,415	17,378
退職給付制度終了損失	—	647,829
投資有価証券売却損	81	—
投資有価証券評価損	54,916	30,712
関係会社株式評価損	—	23,734
ゴルフ会員権売却損	1,614	—
ゴルフ会員権評価損	299	—
貸倒引当金繰入額	3,949	—
特別損失合計	216,227	852,789
税金等調整前当期純損失(△)	△322,325	△739,949
法人税、住民税及び事業税	286,702	206,843
法人税等調整額	△119,539	△377,959
法人税等合計	167,162	△171,115
当期純損失(△)	△489,487	△568,833
非支配株主に帰属する当期純利益	181,219	3,121
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△670,706	△571,955

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
当期純損失(△)	△489,487	△568,833
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△399,768	317,005
為替換算調整勘定	△485,572	437,632
退職給付に係る調整額	△195,229	△196,335
その他の包括利益合計	△1,080,571	558,302
包括利益	△1,570,058	△10,530
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,575,131	△216,694
非支配株主に係る包括利益	5,072	206,163

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2019年4月1日 至2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	500,190	324,233	14,121,967	△2,668	14,943,722
当期変動額					
剰余金の配当			△107,368		△107,368
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△670,706		△670,706
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△778,074	—	△778,074
当期末残高	500,190	324,233	13,343,892	△2,668	14,165,647

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	668,442	1,059,929	405,981	2,134,353	5,999,102	23,077,178
当期変動額						
剰余金の配当						△107,368
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△670,706
連結範囲の変動						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△397,299	△313,729	△193,395	△904,424	△143,627	△1,048,051
当期変動額合計	△397,299	△313,729	△193,395	△904,424	△143,627	△1,826,126
当期末残高	271,143	746,199	212,586	1,229,929	5,855,475	21,251,052

当連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	500,190	324,233	13,343,892	△2,668	14,165,647
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△571,955		△571,955
連結範囲の変動			6,557		6,557
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△565,397	—	△565,397
当期末残高	500,190	324,233	12,778,494	△2,668	13,600,250

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調 整累計額	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	271,143	746,199	212,586	1,229,929	5,855,475	21,251,052
当期変動額						
剰余金の配当						—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△571,955
連結範囲の変動						6,557
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	312,966	235,348	△193,054	355,260	114,053	469,314
当期変動額合計	312,966	235,348	△193,054	355,260	114,053	△96,083
当期末残高	584,109	981,548	19,531	1,585,189	5,969,529	21,154,969

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△322,325	△739,949
減価償却費	3,149,721	2,730,507
減損損失	88,415	17,378
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,225	△10,574
受取利息及び受取配当金	△141,053	△97,199
支払利息	62,750	74,439
為替差損益 (△は益)	10,184	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△18,546	32,275
有形固定資産除却損	65,879	69,728
投資有価証券売却損益 (△は益)	△35,283	△278,710
投資有価証券評価損益 (△は益)	54,916	30,712
関係会社株式評価損	—	23,734
ゴルフ会員権売却損益 (△は益)	△254	△341
売上債権の増減額 (△は増加)	993,037	△101,873
たな卸資産の増減額 (△は増加)	818,564	537,349
仕入債務の増減額 (△は減少)	△707,418	146,793
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	180,657	△89,944
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△389,753	△216,427
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	20,638	632,644
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△9,703	245,665
その他	62,952	109,291
小計	3,880,153	3,115,499
利息及び配当金の受取額	141,494	97,028
利息の支払額	△64,843	△71,783
法人税等の支払額	△348,380	△81,561
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,608,423	3,059,183

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,362,927	△2,249,324
有形固定資産の売却による収入	35,350	195,186
投資有価証券の取得による支出	△61,937	△28,704
投資有価証券の売却による収入	56,554	537,491
貸付けによる支出	△48,000	—
貸付金の回収による収入	55,920	730
定期預金の預入による支出	△576,379	△419,380
定期預金の払戻による収入	75,578	950,379
無形固定資産の取得による支出	△94,510	△19,245
その他	2,515	10,964
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,917,836	△1,021,902
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△3,705,000	1,105,000
長期借入れによる収入	6,700,000	400,000
長期借入金の返済による支出	△1,468,353	△2,265,705
リース債務の返済による支出	△89,397	△26,578
配当金の支払額	△107,467	△210
非支配株主への配当金の支払額	△148,699	△92,109
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,181,081	△879,604
現金及び現金同等物に係る換算差額	△113,642	114,943
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	758,026	1,272,620
現金及び現金同等物の期首残高	5,005,676	5,763,703
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	△10,653
現金及び現金同等物の期末残高	5,763,703	7,025,669

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結子会社であったエイシアン・タナカ・バンコク・カンパニーリミテッドは清算手続中であり当社との間に有効な支配従属関係がないことから、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」に表示しておりました「受取利息及び配当金」は、明瞭性を高める観点から表示科目の見直しを行い、当連結会計年度より「受取利息」及び「受取配当金」として表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「受取利息及び配当金」に表示していた141,053千円は、「受取利息」61,661千円、「受取配当金」79,391千円として組み替えております。

(会計上の見積りの変更)

一部の海外連結子会社において、たな卸資産について、従来は顧客から入手した受注見込み等に基づく処分見込価額まで帳簿価額を切り下げる方法を採用しておりましたが、製品等の出荷データ及び使用実績により当該ライフサイクルの実態把握が可能となったことから、グループの会計方針を統一させ、たな卸資産に係る収益性の低下の事実をより適切に財政状態及び経営成績に反映させるため、当連結会計年度から、生産終了から一定の期間を超える場合に終了後の出荷数量等に応じて帳簿価額を切り下げる方法に変更しております。この結果、従来の方法と比べて、当連結会計年度の売上原価が189,627千円増加し、営業損失、経常損失及び税金等調整前当期純損失が同額増加しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大の影響や長期化による不確実性は、依然として高い状況にあります。本感染症は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を合理的に予測することは困難であります。そのため、当社グループにおいては、暫くは当該影響が継続するものの、地域ごとに状況は異なりますが、2022年3月期に徐々に収束するという一定の仮定に基づいて、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

(退職給付制度の改訂)

当社及び国内連結子会社は、2021年5月1日より、現行の確定給付企業年金制度について、リスク分担型企業年金制度に移行することを予定しております。

当該制度は、「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 2016年12月16日改正)第4項に定める確定拠出制度に分類されることから、「退職給付制度間の移行等の会計処理に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第2号 2007年2月7日改正)及び「リスク分担型企業年金の会計処理等に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第33号 2016年12月16日改正)を適用し、確定給付年金制度の終了時点で終了損失の発生の可能性が高く、かつ、その金額を合理的に見積もることができることから、当連結会計年度において退職給付制度終了損失647,829千円を特別損失に計上するとともに、退職給付に係る負債を同額増加させております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に自動車部品等を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においては米国、タイ及びベトナムの現地法人が、それぞれ担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」、「タイ」及び「ベトナム」の4つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の取引は会社間の取引であり、市場価格等に基づいております。

減価償却費、有形固定資産及び無形固定資産の増加額には長期前払費用に係る償却額及び長期前払費用の増加額を含めております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自2019年4月1日 至2020年3月31日）

(単位：千円)

	日本	米国	タイ	ベトナム	合計	調整額	連結財務諸表計上額
売上高							
外部顧客への売上高	14,843,566	10,643,579	5,544,118	973,250	32,004,514	—	32,004,514
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,053,556	—	184,649	485,110	3,723,316	△3,723,316	—
計	17,897,123	10,643,579	5,728,767	1,458,361	35,727,831	△3,723,316	32,004,514
セグメント利益又は損失(△)	△1,074,682	186,764	301,974	208,404	△377,538	56,979	△320,559
セグメント資産	21,718,356	10,050,417	6,866,915	2,138,303	40,773,993	△3,933,894	36,840,099
その他の項目							
減価償却費	1,306,447	1,180,341	578,394	147,942	3,213,126	△63,405	3,149,721
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,180,725	221,656	247,386	99,723	2,749,492	△14,419	2,735,073

当連結会計年度 (自2020年4月1日 至2021年3月31日)

(単位:千円)

	日本	米国	タイ	ベトナム	合計	調整額	連結財務諸表計上額
売上高							
外部顧客への売上高	12,868,139	8,418,399	4,039,322	715,151	26,041,013	-	26,041,013
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,968,546	21,276	237,626	365,791	3,593,240	△3,593,240	-
計	15,836,686	8,439,675	4,276,949	1,080,943	29,634,253	△3,593,240	26,041,013
セグメント利益又は損失(△)	△260,341	△178,363	91,217	96,950	△250,537	11,188	△239,348
セグメント資産	22,610,640	9,915,064	7,161,314	2,194,697	41,881,717	△4,983,594	36,898,122
その他の項目							
減価償却費	1,209,365	839,644	596,979	141,862	2,787,851	△57,344	2,730,507
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,292,926	98,785	699,797	36,329	2,127,838	△78,038	2,049,800

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	35,727,831	29,634,253
セグメント間取引消去	△3,723,316	△3,593,240
連結財務諸表の売上高	32,004,514	26,041,013

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	△377,538	△250,537
セグメント間取引消去	3,462	39,270
棚卸資産の未実現利益の調整額	4,530	△21,076
有形固定資産の未実現利益の調整額	48,985	△7,006
連結財務諸表の営業利益	△320,559	△239,348

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	40,773,993	41,881,717
投資と資本の相殺消去	△3,058,540	△3,026,040
有形固定資産の調整額	△295,185	△288,121
その他の調整額	△580,167	△1,669,432
連結財務諸表の資産合計	36,840,099	36,898,122

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度	前連結会計年度	当連結会計年度
減価償却費	3,213,126	2,787,851	△63,405	△57,344	3,149,721	2,730,507
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	2,749,492	2,127,838	△14,419	△78,038	2,735,073	2,049,800

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
1株当たり純資産額	1,577.30円	1,555.77円
1株当たり当期純損失(△)	△68.71円	△58.60円

(注) 1. 前連結会計年度及び当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	当連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△670,706	△571,955
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純 損失(△)(千円)	△670,706	△571,955
普通株式の期中平均株式数(株)	9,760,745	9,760,745

(重要な後発事象)

該当事項はありません。